

令和8年度 柴田高等学校「志教育」年間指導計画

3つの視点			かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす			
各教科指導目標	国語	○	○	○	地理歴史	○	○	○	公民	○	○	○	数学	○	○	○	理科	○	○	○
	多様な文章を的確に読み解く力を養い、ものの見方や感じ方を広げ深めながら、物事を主体的に考える姿勢を身につける。また、自らの考えを的確に表現し、他者と伝え合い、対話や議論を通して理解を深める力を育む。			現代の世界や我が国の成り立ちについて理解を深め、地理的・歴史的な差異を踏まえた多様な文化への理解と尊重を養い、国際社会の一員として主体的に関わろうとする資質を育む。			現代社会の仕組みについて理解を深め、自己の在り方や生き方を見つめながら、他者を尊重し、社会の一員として主体的に参画しようとする公民的資質を育む。			数学的な事象や教材に触れることを通じて直観力を磨き、論理的に考える力を育て、様々な課題に対して客観的かつ筋道立てて考える姿勢を養う。			自然界の規則性や法則性について理解を深め、自然環境への視点を養うとともに、地球市民としての資質の育成を図る。							
	保健体育	○	○	○	芸術	○	○	○	外国語	○	○	○	家庭	○	○	○	情報	○	○	○
	生涯にわたってスポーツに親しむ態度を育てるとともに、運動や健康に関する理解を深め、自らの心身の健康を主体的に管理し、向上させようとする資質や能力を育む。			多様な学習活動を通して芸術を深く味わう心を育むとともに、感性を磨き、自らの思いや考えを表現する力の充実を図る。			英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育むとともに、言語や文化への関心を深め、情報を的確に理解し、伝える力を養う。			ライフプランを展望する力や、生涯を見通して生活を考える力を育てるとともに、生活を主体的に実践する力を身につける。さらに、生活理論の理解と実験・実習を通して、実生活に生かせる実践的な生活力を養う。			情報に関する科学的な視点や思考力を養い、情報の社会的役割や影響について理解を深めるとともに、情報化の進展に主体的かつ適切に対応できる能力と態度を育む。							
体育(専門教科)	○	○	○																	
心と体を一体として捉え、スポーツに関する専門的な理解を深めながら、高度な技能の習得を目指す。さらに、主体的かつ合理的・計画的な実践を通して、健やかな心身と豊かなスポーツ観を育む。																				
学年共通					かかわる	もどめる	はたす	各学年指導目標												
指導内容	①挨拶の励行	◎			1年	○新しい環境に適応し、規則正しい生活習慣を身につける。 ○規範意識を高め、集団の中で自らの役割を積極的に果たす。 ○学習や競技力の向上に意欲的に取り組む姿勢を養う。 ○多様な情報を収集し、自分の進路について仮決定する。														
	②ベル着の徹底	○	○	◎		2年	○自律性を高め、自他の違いを認めながら、良好な人間関係を築く。 ○学習活動を通じて、自らの職業観や勤労観を深める。 ○卒業後を見据え、多角的かつ多面的に進路情報を収集・検討する。 ○進路希望をより具体化し、実現に必要な条件や課題を理解し、検討する。													
	③清掃活動の徹底	○		◎	3年		○自分の能力や適性を的確に判断し、卒業後の進路を決定する。 ○自己実現と社会貢献のために取り組むべき課題を見つけ、実践する。 ○理想と現実の葛藤を経験しながら、困難を克服する力を身につける。													
	④清楚な身だしなみ			◎																
	⑤週末課題等各教科の課題提出		○	◎																
	⑥校歌斉唱	○		◎																
指導内容		ねらい			指導教科等		実施時期	時数	かかわる	もどめる	はたす									
1年	未来の働き方を考える	多様な働き方を知り、自分の適性や価値観に合ったキャリアを考える力を養う。将来の選択肢を広げ、主体的に進路を決定する姿勢を育む。			総合探究	6月,9月,11月,1月,2月	5		○											
	進路適性検査・結果の考察	進路適性検査を通じて自らの興味や適性を見つめ、職業や学問との関連を考える。			総合探究	5~7月	1		◎											
	各種進路行事(講話・セミナー・ガイダンス)	さまざまな職業分野や学問分野について知識や情報を得て、職業観や価値観を養いながら、進路選択の目標設定の参考とする。			特別活動	6~3月	5	○	◎	○										
	先輩の進路選択に学ぶ(進路体験講話)	先輩の経験談を聞き、進路への考えを深め、目標実現の手がかりとする。			特別活動	2月	1	○	◎											
2年	進路適性検査の実施と結果の考察	進路適性検査を通じて自らの能力や適性を見つめ、職業や学問との関連を考える。			総合探究	5~6月	1		◎											
	到達度テスト	学習習慣を振り返り、新学年の目標を設定する。また、学期の中間で生活状況を見直し、自己評価を行い、改善に努める。			特別活動	4月, 8月	4		○											
	各種進路行事(講話・セミナー・ガイダンス)	志望する職業分野や学問分野について自ら知識や情報を求め、職業観や価値観を養いながら、具体的な進路選択の目標を設定する。			特別活動	11月	5	◎	◎	○										
	職業体験学習(インターンシップ)	職場での業務を体験し、社会の仕組みや仕事の意義を理解するとともに、キャリア意識を高めることを目的とする。主体性や協調性を養い、自己の適性を知ること、将来の進路選択に活かす。			総合探究	2月	3	○	○	○										
3年	先輩の進路選択に学ぶ(進路体験講話)	先輩の経験談を聞き、進路への考えを深め、目標実現の手がかりを得る。			特別活動	2月	1	○	◎											
	進路分野別ガイダンス	進路希望分野ごとに、目標実現までに必要な手続きや情報を収集する。			特別活動	4~6月	5		◎											
	小論文・志望理由書作成講座	小論文や志望理由書の作成に向けて、試験の概要を理解し、自らの考えを整理しながら、論理的かつ説得力のある文章を書く技法を学ぶ。			特別活動	5月	2	○	◎											
進路講話(社会人セミナー)	社会人マナーや金融リテラシーに関する講話を受講し、社会で求められる知識やスキルを身につける。			特別活動	12~2月	2		○												
							合計時数	35												